

**民主主義ゆるがす問題 フジHD外資規制違反
 本村氏が追及 衆院総務委**

もとむら伸子衆院議員は13日の総務委員会で、フジテレビなどを傘下に持つフジ・メディア・ホールディングスが放送法の外資規制に違反していたことについてただしました。



本村氏は、違反が判明したときになぜすぐに発表しなかったのか、その理由をたどしました。参考人のフジ・メディアHDの金光修社長は「株主、投資家の保護をしなければならぬので(認定が)取り消しになるのか、ならないのか、その判断を総務省に聞くことを最優先させた」と答えました。

また、本村氏は、武田良太総務相が1981年の「内閣法制局見解」を根拠に、2014年当時、認定取り消し処分をしない判断したことは正しかったとしていることについて追及。総務省の吉田博史情報流

政権交代で新しい政治を
日本共産党 オンライン in 東海
5・15 演説会
 午後1時半

YouTube 検索

衆議院議員 もとむら伸子
 前衆議院議員 しまづ幸広
 党愛知県青年学生部副部長 長内史子



井上さとし参院議員は12日の決算委員会で、核兵器を搭載できる米軍B52戦略爆撃機と航空自衛隊が共同訓練していることについて批判、訓練の中止を求めました。

核攻撃訓練やめろ 日米共同訓練

井上議員が批判 参院決算委

井上氏は、2018年7月以降にB52と空自の共同訓練が計5回行われたと指摘。「B52は憲法上保有できない兵器であり、核兵器が搭載可能とされている。専守防衛の自衛隊が何のためにB52と訓練するのか」とただしました。

井上氏は、米軍は①長距離爆撃機 ②大陸間弾道ミサイル ③潜水艦発射弾道ミサイルを「核の3本柱」に位置づけ、米戦略広報部の記事には、B52の飛行訓練などについて、「米軍はその一部を日本の自衛隊と行った」と明記していると指摘。「核の3本柱の訓練の一部だと米側が言っている。訓練の位置づけを知らされないまま航空自衛隊は参加したのか」と迫りました。

岸信夫防衛相は「技量の向上や米軍との連携強化のため実施しており、専守防衛に反しない」と強弁しました。

井上氏は「核搭載可能なB52と技能向上や連携強化の訓練を行うことは、米国の核作戦に組み込まれるものだ」と批判しました。